

防火認定番号関連

防火認定番号グループ | P.32～37の価格表に表記している防火認定番号グループのアルファベット別に、防火認定番号をまとめています。
防火認定番号は変更となる場合がありますので、日本壁装協会の「壁紙品質情報検索システム」で品番から最新の防火認定番号をご確認ください。

防火認定番号グループ	不燃材料 ※1	不燃石膏ボード ※2	準不燃材料 ※3	金属板 ※4	アルミニウム合金板 ※5
A	NM-0974	NM-0974	QM-0340	NM-0974	NM-4471
B	NM-2625	NM-2625	QM-0760	NM-3718	NM-4326
C	NM-2626	NM-2626	QM-0781	NM-3869	NM-4325
D	NM-2627	NM-2627	QM-0781	NM-3869	NM-4325
E	NM-2648	NM-2648	QM-0758	NM-3710	NM-4279
F	NM-3803	NM-3803	QM-0783	NM-3871	NM-4278
G	NM-3816	NM-3816	QM-0781	NM-3869	NM-4278
H	NM-3817	NM-3817	QM-0782	NM-3870	NM-4278
I	NM-3885	NM-3885	QM-0787	NM-3886	NM-4473
J	NM-3716	NM-3716	QM-0759	NM-3717	-
K	NM-4945	NM-4945	QM-0957	NM-4946	※6
L	※6	※6	※6	※6	※6
M	NM-4087	NM-4087	-	NM-4181	NM-4480
N	NM-4363	NM-4363	-	NM-4364	NM-4481
O	NM-4374	NM-4374	-	NM-4375	NM-4482
P	-	-	-	NM-4429	NM-4430

※1・・・告示第1400号のモルタル、厚さが5mm以上の繊維混入ケイ酸カルシウム板

※2・・・告示第1400号の厚さが12mm以上の石膏ボード

※3・・・告示第1401号の厚さが9mm以上の石膏ボード

※4・・・アルミニウムを除く金属板

※5・・・アルミニウム合金板 (JIS H 4000・JIS H 4100)

厚さ 0.5±0.05mm～20±2.0mm

質量 1,320±132g/m²～56,800±5,680g/m²

合金番号 1050・1060・1070・1100・1200・2014・2017・2024・2219・3003・3004・3105・

5005・5052・5083・5086・5154・5182・5254・5454・6061・6063・6N01・7003・7050・7N01

※6・・・該当の防火認定番号については弊社営業窓口までお問い合わせください。

その他の防火認定 |

区分	名称
鉄道車両	鉄道車両用燃焼性試験
船舶	ビューローベリタス
	国土交通省 (JG)
	日本海事協会 (NK)

詳細は弊社営業窓口までお問い合わせください。

ホルムアルデヒド発散等級

リアテックは全て「F☆☆☆☆」を取得しており、使用面積の制限を受けることなく、ご使用いただけます。

ホルムアルデヒド発散速度性能に基づく、壁紙の種別区分について

ホルムアルデヒド発散速度に応じて4つの種別に区分されますが、「JIS認証」あるいは「大臣認定」を取得したF☆☆☆☆壁紙は「規制対象外」の建築材料として、使用面積の制限を受けることなく、お使いいただけます。

告示で定める性能区分	規制対象外	ホルムアルデヒド発散建築材料		
		第3種	第2種	第1種
ホルムアルデヒド発散速度 (チャンパー法数値)	5 μ g/m ³ h以下	5 μ g/m ³ h~ 20 μ g/m ³ h以下	20 μ g/m ³ h~ 120 μ g/m ³ h以下	120 μ g/m ³ h以上
対策マーク	F☆☆☆☆	F☆☆☆	F☆☆	対策マーク表示不可
壁紙の規格	大臣認定 JIS認証	—	—	—
内装仕上げの制限	使用制限無し	使用面積が制限される		使用禁止

一般社団法人 日本壁装協会の自主管理制度について

日本壁装協会では、シックハウス対策壁紙の「品質の表示」と「管理責任の範囲」を明確に取り決めた自主管理規定を構築しました。これは規定に定めた「製品情報ラベル」を表示運用することで「製造メーカーより出荷される商品(正反)」と「流通過程でカットされて販売される商品」それぞれのホルムアルデヒドの性能担保を行う自主管理制度です。なお、製品情報ラベルは、ホルムアルデヒド発散等級の確認および日本壁装協会・壁紙品質情報検索システムに登録を行った商品のみに表示することができ、「壁紙製品の包装上に貼り付け」されるものです。

(1) 製品情報ラベル

主に製造メーカーより出荷される壁紙(正反)に貼り付けされるもので、「JIS認証仕様」「大臣認定仕様」の2つの様式があります。

(2) シックハウス対策品ラベル

主に流通過程でカットして販売される壁紙には、日本壁装協会「シックハウス対策品ラベル」が貼り付けられます。
※シックハウス対策品ラベルは、出荷ラベル(品番、ロット、数量、販売会社名)とセットで貼り付けられます。



〈シックハウス対策品ラベル〉

JIS認証仕様

製品情報ラベル		防火種別
ホルムアルデヒド発散 F☆☆☆☆	材料種別	JIS
JIS A 6921	大臣認定番号	
製造業者		
品名	防火種別(防火種別表示)	
ロット番号	販売先	

防火製品表示ラベル			
材料区分	防火性能	防火種別	認定番号
不燃材料 (建築基準法第90条第1項第1号)	第1種 第2種	認定番号	
不燃石膏ボード			
準不燃材料			
可燃板			

防火認定取得者

〈製品情報ラベル〉

大臣認定仕様

製品情報ラベル		防火種別
ホルムアルデヒド発散 F☆☆☆☆	材料種別	
大臣認定番号	大臣認定番号	
認定取得者		
品名	防火種別(防火種別表示)	
ロット番号	販売先	

防火製品表示ラベル			
材料区分	防火性能	防火種別	認定番号
不燃材料 (建築基準法第90条第1項第1号)	第1種 第2種	認定番号	
不燃石膏ボード			
準不燃材料			
可燃板			

防火認定取得者

シックハウス対策壁紙の登録確認書発行について

建築基準法等では、建築確認申請の際には告示対象建材について「使用建築材料表で等級を明示」するだけでよく、個々の商品に対する「JIS、国土交通大臣の認定等の別」を特定する必要がないとされています。認定に関する情報は、日本壁装協会の検索システムで「壁紙品質情報管理システム登録確認書」として一元管理されています。

壁紙品質情報管理システム登録確認書

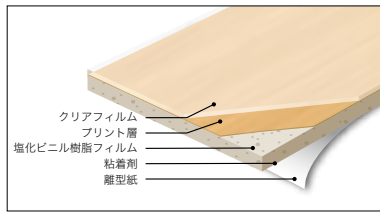
日本壁装協会の検索システムでは、JISならびに大臣認定に関するシックハウス対策情報や防火認定情報も商品番号から検索でき、
 ボタンより印刷及びダウンロードすることができます。



<http://www.wacoa.jp/Hekisou/>

製品について

リアテックは粘着剤付化粧フィルムです。



製品仕様

素材 塩化ビニル樹脂フィルム

形状 1,220mm×50m ロール状
※一部30m・40m ロール状あり

厚み 約0.2mm

一般物性

物性	試験方法	基準・結果
寸法安定性	200×200mmのアルミニウム板に、150×150mmのリアテックを貼り付け、中央に100×100mmの大きさの切り込みを十字に入れ、65℃に2日間放置した後、切り込みの最大隙間を測定する。	最大隙間0.3mm以内
耐ヒートサイクル性	アルミニウム板にリアテックを貼り付け、-30℃×12時間→65℃×12時間を1サイクルとし、合計12サイクル実施後の剥離や外観変化、変色の有無を確認する。	剥離などの異常や著しい変化なし
耐候性	サンシャインカーボンアーク灯式耐候性試験機により、250時間照射後の外観変化、変色の有無を確認する。	著しい変化なし
耐摩耗性	テーバー式摩耗試験機(摩耗輪 CS- 17・ 1kg荷重) による摩耗終点。	7,000回転以上
耐熱性	アルミニウム板にリアテックを貼り付け、65℃で28日間放置後、剥離などの有無を確認する。	剥離などの異常なし
耐湿性	アルミニウム板にリアテックを貼り付け、40℃・湿度90%に28日間放置後、剥離などの有無を確認する。	剥離などの異常なし
耐低温衝撃性	アルミニウム板にリアテックを貼り付け、デュボン衝撃試験機を使用し、0℃の環境下で1/2インチ径を用い、100gの荷重を100mmの高さから落下させる。	フィルムの割れ発生なし

耐汚染性

試験物質	リアテック			高耐候リアテック			ミラクリーン			
	水	中性洗剤	アルコール	水	中性洗剤	アルコール	乾拭き	水	中性洗剤	アルコール
コーヒー	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
醤油	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
ソース	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
オレンジジュース	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
水性ペン	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
クレヨン	×	◎	◎	△	◎	◎	○	◎	◎	◎
油性ペン	×	×	△	×	×	◎	△	△	△	◎
口紅	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
酢	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
ケチャップ	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
紅茶	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
赤ワイン	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
タバコ・ペッパーソース	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
ターメリック	△	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
カラートリートメント	△	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
靴墨	△	○	○	○	◎	◎	×	○	◎	◎

試験方法：壁紙工業会規定 汚れ防止壁紙性能試験に準じ、汚染物質については当社基準による。
評価方法：JIS L 0805に定める汚染用グレースケールを用い、1級(不可 xx)～5級(良好◎)で汚染度合いを評価する。
※各種汚染物質に対する24時間後の汚れ防止性能を評価しています。

耐薬品・耐溶剤汚染性

試験薬品	リアテック	高耐候リアテック	ミラクリーン
次亜塩素酸ナトリウム (6%)	◎	◎	◎
エタノール (99.5vol%)	◎	◎	◎
アンモニア水 (29%)	◎	◎	◎
過酸化水素水 (3.5w/v%)	◎	◎	◎
ホビドンヨード (7%)	○	◎	◎
塩酸 (10%)	◎	◎	◎
ベンザルコニウム水溶液 (10%)	◎	◎	◎
ホルマリン液 (35%)	◎	◎	◎
クレゾール石鹼液 (3%)	◎	◎	◎
ラッカーシンナー (原液)	○	◎	◎
ルゴール液 (ヨードグリセリン) (原液)	◎	◎	◎
アクリノール (原液)	◎	◎	◎
水酸化ナトリウム (10%)	◎	◎	◎
石油ベンジン (原液)	○	◎	◎
メチルエチルケトン (原液)	△	◎	◎
n-ヘキサン (原液)	◎	◎	◎
トルエン (原液)	○	◎	◎
酢酸エチル (原液)	○	◎	◎

試験方法：JIS K 6902Bに準じ、汚染物質については当社基準による。
評価方法：色相変化および状態変化により総合評価を行う。
色相変化…JIS L 0805に定める汚染用グレースケールを用い、汚染度合いを評価する。
状態変化…目視により外観の状態変化を評価する。
◎…変化なし ○…軽微な変化 △…明らかな変化 ×…侵される

接着力

(単位：N/25.4mm)

試験下地	プライマー無し	プライマー塗布
シナベニヤ	11.4	34.7
石膏ボード	—	5.9*
ケイ酸カルシウム板	6.7	29.7
メラミン焼付銅板	23.3	30.3
塩ビ銅板	31.2	36.5
アルミニウム	27.7	—
ステンレス	30.0	—
アクリル	24.4	34.1
モルタル	25.6	33.2
MDF	14.7	31.5
電気亜鉛めっき銅板	28.4	45.0
ABS	21.9	28.0
メラミン化粧板	16.0	36.4
ポリエステル化粧板	20.6	24.9
ガラス	19.8	—

*石膏ボード上紙の材料破壊

試験方法：幅25.4mm、長さ180mmの帯状のリアテックを上記の下地に貼り付け、20℃で48時間放置した後、テンシロン型万能引張試験機を用い、引張速度300mm/分で180度方向に引き剥がす。
※接着力は商品によって若干異なります。
※プライマー塗布条件：20℃・オープンタイム1時間

抗菌性能

試験菌	常温で水に16時間浸漬後	キセノン耐候性試験10時間養生後
大腸菌	抗菌活性値2.0以上	
黄色ブドウ球菌		

試験方法：JIS Z 2801(抗菌性試験)に準じる。
評価方法：抗菌活性値が2.0以上の場合に抗菌効果があると判断されます。

防かび性能

試験材料	10日後	14日後	21日後	28日後
抗菌・防かび加工品	かびの生育は認められなかった			
無加工品	かびの生育が認められた			

試験方法：ASTM-G21(カビ抵抗性試験)による。

ミラクリーン抗菌性能

試験材料		付着菌数 (cfu/10cm ²)	
		黒かび	O-157
ミラクリーン	洗浄前	1,700	6,900,000
	洗浄後	480	8,800
一般的なタイル	洗浄前	51,000	5,500,000
	洗浄後	59,000	130,000

試験依頼先：東京都立産業技術研究センター / (社)日本食品衛生協会

∞PVCマーク：経済産業省が定めた「資源の有効な利用の促進に関する法律」に基づき、本品の裏面には塩化ビニル製を表す∞PVCマークが印刷されています。
裏面から光が当たるなどすると、色柄によっては透けて見える場合がありますのでご注意ください。

試験条件：特に記載のないものについては、JIS Z 0237準拠 温度：23±1℃・相対湿度：(50±5)%の標準状態データ値について：上記の試験結果は代表品番による測定値であり、保証値ではありません。

選択・施工上の注意

施工環境

原則として内装使用

リアテックは一部商品を除き、原則として内装用途にお使いください。

施工環境(ホコリ・チリ)

施工する際は施工面だけでなく、床面の清掃も行い、必要に応じて水をまく等、防塵対策を行ってください。本品と施工面の間に異物が入るとフクレ等の原因となります。

照明

必要に応じて照明器具を使用し、明るい環境で施工してください。施工環境が暗い場合、異物の混入や気泡を見逃すおそれがあります。

湿度

下地に湿気があると施工できません。下地を十分に乾燥させた後に施工してください。

静電気

空気が乾燥して静電気が発生しやすい場合は、床に霧吹きなどで水をかけてください。

施工温度

【施工温度】

・本品の施工可能温度範囲は12～38℃程度ですが、最適な施工温度範囲は20～25℃程度です。

・現場で本品を保管する場合は、直射日光を避け、温度は38℃以下で保管してください。

・施工後の急激な温度変化はフクレ・目隙の原因となるため避けてください。

【低温時(12℃未満)】

・低温時は裏面の接着効果が発揮されにくく接着不良になりやすいので施工を延期するか、またはジェットヒーターを用意するなど現場環境を改善してから施工してください。

また、低温時はフィルムが裂けやすくなりますのでご注意ください。

【高温時】

・直射日光が当たる下地面は、極端に接着力が強くなり、貼り付け後の微調整も困難で作業性が悪くなります。この場合は時間帯をずらして、下地が冷めるのを待ってから施工してください。

・高温時はフィルムがより柔軟になり、施工しにくくなる場合があります。

・スチール下地への施工の際は、直射日光が当たる場所は冬季でも高温になっている場合がありますのでご注意ください。

R面施工でのドライヤー使用

本品を折り曲げて施工する場合、商品によってはR面部分が白くなる場合があります。ドライヤーで温めながら貼り付けるか、貼り付けた後に温めてください。

下地調整

下地の清掃

下地面の水分やゴミ・油分などを完全に除去し、汚れのないよう清掃してください。

下地の平滑・乾燥

下地は必ず凹凸がなく平坦で乾燥している状態で施工してください。

シーラー・パテ・プライマー

下記の表を参考にシーラー・パテでの処理後、より強く接着するためにプライマー処理をおすすめします。専用プライマーはペンリダインRT、RP-100、RA、RSです。

コーナーテープ

コーナー部分には必ずコーナーテープをご使用ください。

養生テープ・粘着テープ

養生テープ・粘着テープなどを本品表面に長時間貼ったままにしないでください。べたついてきれいに剝がせなくなる場合があります。

下地の色の影響

下地の色が本品表面の色に影響を及ぼす場合がありますのでご注意ください。

傾斜面や水平面への施工

傾斜面や水平面に施工した場合の耐用年数は垂直面の場合と比較して短くなります。

ベニヤ下地の油分除去

ベニヤ合板下地については油分をよく拭き取ってから施工してください。

下地の継ぎ目の固定

ケイ酸カルシウム板、石膏ボード、合板下地の継ぎ目部分はビスやタッカーで完全に固定してください。貼り付け時に本品を圧着することで下地が動き、パテが割れる場合があります。

無垢材等の接着不良・フクレ

無垢材、集成材、真鍮、銅、鉛下地は、接着不良によりフクレが生じることがありますので施工しないでください。

ガラスへの施工

ガラスに貼る場合は汚れを除去してから直接貼り付けてください。ただし直射日光が当たる場合は、粘着剤が劣化したり、ガラスが熱割れを起こす場合があります。

下地調整一覧

下地/工程	前処理	シーラー処理	パテ処理	サンディング	表面清掃	プライマー処理
石膏ボード	釘頭・段違い処理	—	ペンリダインセレクト(上塗)/ エース(下塗)	#180~240サンドペーパー	アルコール	ペンリダインRT/RP-100/RA
ケイ酸カルシウム板	釘頭・段違い処理	ペンリダインシーラーS	ペンリダインセレクト(上塗)/ エース(下塗)	#180~240サンドペーパー	アルコール	ペンリダインRT/RA
モルタル	金こて仕上げ 乾燥状態確認	ペンリダインシーラーS	ペンリダインセレクト(上塗)/ エース(下塗)	#180~240サンドペーパー	アルコール	ペンリダインRT/RP-100
焼付塗装鋼板	錆・油脂成分除去	—	ポリエステル系パテ	#180~240サンドペーパー	アルコール	ペンリダインRP-100/RS
電気亜鉛めっき鋼板	錆・油脂成分除去	—	ポリエステル系パテ	#180~240サンドペーパー	アルコール	ペンリダインRT/RP-100/RS
アルミニウム板	錆・油脂成分除去	—	ポリエステル系パテ	#180~240サンドペーパー	アルコール	ペンリダインRT/RS
ステンレス板	錆・油脂成分除去	—	ポリエステル系パテ	#180~240サンドペーパー	アルコール	ペンリダインRT/RP-100/RS
ガラス	—	—	—	—	アルコール	—
シナベニヤ合板 ラワン合板	釘頭・段違い処理	ペンリダインシーラーS	ペンリダインセレクト(上塗)/ エース(下塗)	#180~240サンドペーパー	アルコール	ペンリダインRT/RP-100/RA/RS
MDF	釘頭・段違い処理	ペンリダインシーラーS	ポリエステル系パテ	#180~240サンドペーパー	アルコール	ペンリダインRT/RP-100/RA/RS
塩ビ鋼板	表面状態確認	—	ポリエステル系パテ	#180~240サンドペーパー	アルコール	ペンリダインRP-100/RS
メラミン板 ポリエステル板	—	—	ポリエステル系パテ	#180~240サンドペーパー	アルコール	ペンリダインRP-100/RS

選択・施工上の注意

裁断・貼り |

カット・引き出し時のキズ

ロール状の本品をカットしたり巻き直したりする際は、表面にキズがつかないように床や作業台の養生を行ってください。

床置きせずロール状に立てる

裁断した本品の一時保管は、離型紙が内側になるように巻き、端部をマスキングテープで仮止めして立ててください。裁断した本品を引きずったり表面を直接床につけないでください。表面にキズがついたり、破損する恐れがあります。

平面状にすると剥離

ロール状の本品を引き出して平面状にすると離型紙とフィルムが剥かれることがありますのでご注意ください。

ロットによる差異

本品は厳正な品質管理を行っておりますが、ロットにより多少の差異が生じる場合があります。異なるロットを同じ面に使用することは避けてください。

方向性

本品は単色であっても方向性があります。裏面の離型紙ロゴを同じ方向に合わせて施工してください。本品の裁断位置により突合せ部の左右の濃さが極端に異なる場合がありますので、裁断位置や貼る方向にご注意ください。なお、エンボスにも方向性があります。逆方向に貼ると光線の加減で色違いに見える場合がありますのでご注意ください。

リピート

本品は製法上、リピートを正確に合わせることはできません。ジョイントをする際は事前にご確認ください。

ジョイント(突合せ施工・重ね切り)

突合せ(重ね切り) 施工の際は施工後に隙間が生じる場合があります。特に濃色の場合は目立つことがあります。下地に同系の色を塗っておくことをおすすめします。ジョイント部分の下地にはプライマーを2度または3度塗りしてください。また本品を突合せ(重ね切り)する際は下地を切らないように注意してください。目隙の原因となります。

ジョイント(重ね貼り)

重ね貼りする際は、重ねる部分にプライマー ヘンリダインRP-100またはRSを塗布し、乾燥させてから施工してください。その際プライマーがはみ出さないようご注意ください。

重ね貼りは不燃にならない

内装制限がかかる部位について、既存の化粧フィルムの上に本品を重ね貼りすると、防火性能は取得できませんのでご注意ください。

出隅・入隅・三次曲面

出隅・入隅部分、また三次曲面に施工する場合は入念にプライマー処理を行い、接着強度を高めてください。

凹凸面のある下地

タイル面など、凹凸のある下地には施工しないでください。フクレや剥がれが発生する場合があります。

施工後 |

高温・多湿

常時50°C以上となる場所や、水中、湿度が高い場所への施工は避けてください。

最大強度

本品裏面の粘着剤は、時間の経過とともに下地との密着性が上がります。貼り替えなどで本品を剥がす際、種類によっては下地を痛める場合がありますのでご注意ください。

水廻りへの施工 |

浴室への施工には下記マークのついたリアテック抗菌・防かびタイプをご使用ください。

◆ 抗菌・防かび性能があります

シートの表面から水分が浸透することはありませんが、端部や下地から水分が入り込むと接着不良を起こす恐れがあります。金属など含水しない下地をご使用になるか、端部への防水処理を十分に行ってから施工してください。

屋外への施工 |

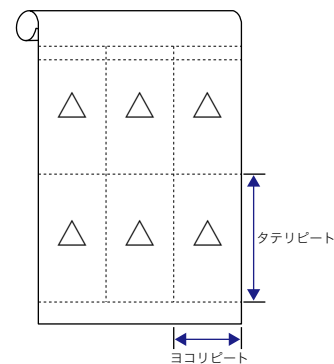
屋外への施工には下記のお日様マークのついた本品、または高耐候リアテックをご使用ください。

☀️ 約3年の耐候性タイプのため屋外使用可能です

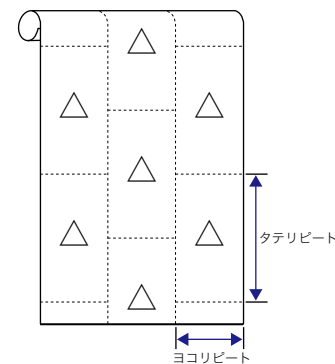
☀️ 約5年または約10年の耐候性タイプのため屋外使用可能です

リピート図 |

並行送り



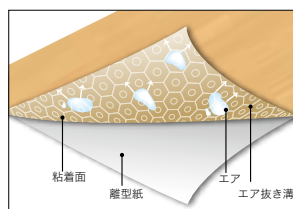
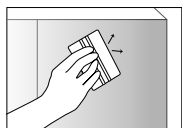
1/2ステップ送り



リアテックの全ての柄にはリピートがあります。製法上避けられないバラつきがありますので、リピート値は参考値とお考えください。同一商品においても生産時期、ロット、巻きによってリピートが異なる場合がありますのでご注意ください。この数値をもとにした材料取りや裁断を行わないようご注意ください。また、ジョイントをする際は事前にご確認ください。

エアスルー |

本品はエア抜きが容易なエアスルー加工を採用しています。裏面の溝が空気の通り道をつくり排出するため、施工がすばやく簡単に行えます。



選択・施工上の注意

シリーズ別注意事項 | ①マークの商品について注意事項を記載しています。

品番毎に該当する選択・施工上の注意をP.32～37「商品一覧」にてご確認ください。

- A** メタリック・反射エンボス商品 —— ・下地の影響を受けやすい商品のため、下地調整を十分に行い施工してください。平滑で継ぎ目のない下地に施工してください。
・反射光により、ジョイント部分の左右で色が異なって見える場合があります。事前にご確認の上、目地取りすることをおすすめします。
・ドライヤー等で過度に引き伸ばすと、色調・外観にムラが生じる場合がありますのでご注意ください。
・貼り付けは、柔らかい布を巻いたスキージーで圧着してください。
・角度により色調が変化するため、流れ方向を合わせて施工してください。
・他のリアテックよりもロットによる色の差異が大きくなります。異なるロットを同じ面に使用することは避けてください。
- B** エンボスが深い商品 —— ・深いエンボスが特長の商品です。他のリアテックよりもサンディングとプライマー処理を徹底し、圧着を十分に行ってください。
・重ね貼りの際は、エンボスの深さにより接着力が低下するため、十分にご確認ください。
- C** 横方向の柄/幾何エンボス商品 —— ・製法上、中央部と両端部で柄の位置が異なります。柄合わせはできませんのでご注意ください。
・目透かしや目地込みでの施工をおすすめします。
- D** 三次曲面への施工 —— ・過度に引き伸ばすと色調・外観にムラが生じる場合があります。三次曲面への施工は避けてください。
- E** メラミン化粧板との同柄商品 —— ・イビケン株式会社のメラミン化粧板「イビボード」との同柄コーディネートを提案するものです。
・原材料や製造方法が異なるため、同じ柄であっても色やツヤ、質感などが異なります。また光源や見る角度によって色調が異なって見える場合があります。連続する平面での使用は避けていただき、あらかじめサンプルなどで現物をご確認の上、ご使用ください。
- F** エアスルー未加工商品 —— ・エア抜きが容易なエアスルー加工を施していない商品です。
・エアスルー加工品と比較して、エアが抜かにくいので、貼り付け時の圧着作業を入念に行ってください。
- G** リアルウッドエクストラ —— ・リアテック下敷きカッターを使用しないでください。カッターの痕がフィルム表面に見える場合があります。離型紙はカットせずに、折り返して施工してください。
・エンボスが深い商品のため、リアルウッドエクストラを下地とした重ね貼りは避けてください。
- H** 屋外使用 —— ・屋外に使用する場合、木・ケイ酸カルシウム板・スレート板・窯業系の下地には施工しないでください。施工後フクレや剥がれが発生する場合があります。
・屋外に使用する場合、端部及び下地側から水分が入り込むと接着不良を起こす場合がありますので、金属などの含水しない下地に施工してください。また、端部へのシール等防水処理を十分行ってください。
・形状によっては施工できない場所もあります。
・重ね貼り施工をする場合には、重ねる部分にサンダーがけ及びプライマー処理が必要です。
・屋外に面したドアへの施工は、玄関ドアフィルムを使用してください。
- I** ミラクリーン —— ・表面に4フッ化フッ素樹脂フィルムをラミネートしているため、重ね貼り施工はできません。重ね貼り施工をする場合には、重ねる部分にサンダーがけ及びプライマー処理が必要です。目透かしや目地込みでの施工をおすすめします。
・端部等へのコーキング処理が必要な場合は、はみ出し防止用にマスキングテープを貼り付け、サンドペーパー等で表面処理をした後に行ってください。コーキングの密着力を高めるために、この処理は必ず行ってください。
- J** リアテックコート —— ・下地の影響を受けやすい商品のため、下地調整を十分に行い施工してください。
・表面に特殊樹脂を使用しています。そのため、他のリアテックと比べて耐汚染性が若干劣ります。頻繁に人の手が触れるような場所での使用は避けてください。
・雑巾での乾拭き等、日常使用による軽微な擦り傷は修復し目立たなくなりますが、フィルムに直接及ぶような著しい損傷は修復できませんので、ご注意ください。
・出隅・入隅への施工の際は、摩擦熱により表面が白化する場合があります。布を巻いたスキージーで強く擦るのは避けて、ゆっくり圧着してください。
・パネル貼り付け時等、リアテックコート品の表面同士が直接重なると、表面のコートの影響により剥がれにくくなる場合がありますので離型紙等を間に挟み直接フィルムの表面同士が密着しないようにしてください。
・重ね貼り施工をする場合には、重ねる部分にサンダーがけ及びプライマー処理が必要です。
・低温時は特に割れやすくなるため、現場環境を改善し、材料をなじませてから施工してください。
- K** EASY COORDINATE —— ・リアテック、ハードウォール、壁紙、ガルザスは材質・幅の異なる商品です。柄やリピートを正確に合わせることはできませんのでご了承ください。また原材料や製造方法が異なるため、同じ柄であっても色やツヤ、質感などが異なり、光源や見る角度によって色調が異なって見える場合があります。あらかじめサンプルなどで現物をご確認の上、ご使用ください。
- L** ホワイトボードシート —— ・本冊子P.44をご参照ください。
- M** 浴室パネル —— ・浴室パネルは防火認定を取得しておりません。内装制限を受ける箇所には使用しないでください。
・積み重ねる際は異物が入らないようご注意ください。
・下地を清掃し、十分に乾燥させてから施工してください。
・不陸の調整は十分に行ってください。
・メンテナンスの際は中性洗剤を使用し、柔らかいスポンジや布で清掃してください。
・研磨剤の入ったスポンジや金タワシを使用すると表面が摩耗し、抗菌・防かび効果が損なわれる場合があります。
・シンナー・トルエンなどの溶剤は使用しないでください。
- N** ギラガラス —— ・メタリックの輝度により、見る角度によっては不規則な模様が見える場合があります。高輝度メタリック品の特性ですのでご了承ください。
- O** マットウッド・マットファブリック —— ・特殊樹脂を使った艶消し仕上げが特長の商品です。重ね貼り施工をする場合には、重ねる部分にサンダーがけ及びプライマー処理が必要です。
・他のリアテックと比べて耐汚染性が若干劣ります。頻繁に人の手が触れるような場所での使用は避けてください。
・他のリアテックと比べて擦り傷が目立ちやすいです。貼り付けは、柔らかい布を巻いたスキージーで圧着してください。
・ドライヤー等で過度に引き伸ばすと、色調・外観にムラが生じる場合がありますのでご注意ください。
- P** 高耐候リアテック・玄関ドアフィルム —— ・過度に引き伸ばすと長期耐候性が著しく低下する場合があります。
・他の商品に比べて、フィルムが裂けやすくなっています。カットニングや施工の際にご確認ください。
・重ね貼り施工をする場合には、重ねる部分にサンダーがけ及びプライマー処理が必要です。
・詳細は本冊子P.45をご参照ください。
- Q** コモレビ —— ・商品特性上、色調が変化して見える場合がありますのでご注意ください。
- R** メタリック(顔料練り込み)商品 —— ・商品特性上、割れやすい商品のため、低温時の施工は避けてください。

選択・施工上の注意

シリーズ別注意事項 | ホワイトボードシート

施工上の注意 |

本品の基本的な施工方法は弊社取扱商品「リアテック」に準じますが、一部特性が異なりますのでご注意ください。

施工時の温度・湿度

最低貼り付け温度は12℃です。低温時は裏面の接着効果が発揮されにくく接着不良になりやすいので施工を延期するか、またはジェットヒーターを用意するなど現場環境を改善してから施工してください。

下地の平滑性と筆記性・消去性・投映画像への影響

下地表面の水分やゴミ・油などを完全に除去し、十分な清掃をしてください。下地は必ず凹凸がなく平坦で乾燥している状態で施工してください。下地の凹凸が筆記性や消去性、投映画像に影響を与えますので入念な下地処理をお願いします。下地には平滑な鋼板をおすすめします。

表面のキズ付き注意

本品の貼り付けは、柔らかい布を巻いたスキーローラーで圧着してください。硬いもの(柔らかい布を巻かないスキーローラーなど)で圧着すると、表面をキズつける場合があります。

ジョイント

本品は突合せ(重ね切り)施工をおすすめしますが、施工後に隙間が生じる場合があります。また、表面に特殊フィルムをラミネートしているため、重ね貼り施工をする場合には、重ねる部分にサンダーがけ及びプライマー処理が必要ですが、ジョイント部分の凹凸が筆記性や消去性、投映画像の品質に影響を与えますので、ご了承ください。ジョイント部分は細い筋が入っているように見えます。この部分でマーカーを使用すると、レーザーを使用しても消去できず線状に着色して見えますのでご注意ください。

二次・三次曲面への施工

本品は二次曲面への施工が可能ですが、引き伸ばすと性能が低下するおそれがありますので、ご注意ください。三次曲面への施工は避けてください。

別ロット注意

本品は厳正な品質管理を行っておりますが、ロットにより多少の差異が生じることがあります。異なるロットを同じ面に使用することは避けてください。

使用上の注意 |

照明環境

光の照射具合によって、表面に細かなキズやムラが見える場合があります。

筆記・消去

筆記には、下表の推奨マーカーをお使いください。それ以外のマーカーで書いてしまうと消去できない場合があります。インクの消去は下表のホワイトボード用の推奨レーザーをご使用ください。マーカー・レーザーの種類により、消去性に若干の違いが出ますのでご了承ください。

初期はじき

初期のマーカーは筆記時にはじきが生じる可能性があります。数回書き消ししていただくと、はじきを低減することができます。

キズが付いた場合の消去性

フィルム表面にキズをつけると凹部にマーカーのインクが入り込み、汚れて消去できなくなりますのでご注意ください。

時間経過した場合の消去性 等

繰り返しお使いいただくとレーザーでは消去しにくくなる場合があります。また筆記後時間が経つと消去しにくくなります。汚れがひどくなった場合は、布などで水拭きしてから乾いた布で乾拭きしてください。落とすににくい場合は消毒用エタノールまたは下表の推奨クリーナーをお使いください。

レーザーの交換

インクの「カス」がシートに付着するのを防ぐため、レーザーが汚れた場合は使用を続けずに交換してください。

投映画像の品質

本品に投映した画像の品質は、下地の状態やプロジェクターの種類、投映環境によって異なります。

推奨マーカー

メーカー	製品名	色	型番
べんてる	べんてる ホワイトボードマーカー ノックル中字	黒	EMWLM-A
		青	EMWLM-C
		緑	EMWLM-D
		赤	EMWLM-B
アスクル	アスクル ホワイトボードマーカー 中字丸芯	黒	2902353
		青	2902390
		緑	2902362
		赤	2902371
カウネット	カウネット オリジナルホワイトボードマーカー	黒	4156-9337
		青	4157-8773
		緑	4157-8759
		赤	4157-8766

推奨レーザー

メーカー	製品名	型番
プラス	コピーボード レーザー	ER-44369

推奨クリーナー

メーカー	製品名	型番
コクヨ	ホワイトボード用クリーナー	TW-400

※2016年9月時点、市販されているマーカーおよびレーザーを用いて評価したものです。

施工上の注意

シリーズ別注意事項 |

高耐候リアテック / 玄関ドアフィルム

施工環境 |

施工環境(ホコリ・チリ)

施工する際は施工面だけでなく、床面の清掃も行い、必要に応じて水をまく等、防塵対策を行ってください。本品と施工面の間に異物が入るとフクレ等の原因となります。

照明

必要に応じて照明器具を使用し、明るい環境で施工してください。施工環境が暗い場合、異物の混入や気泡を見逃すおそれがあります。

湿度

下地に湿気があると施工できません。下地を十分に乾燥させた後に施工してください。

静電気

空気が乾燥して静電気が発生しやすい場合は、床に霧吹きなどで水をかけてください。

施工温度

【施工温度】

- ・本品の施工可能温度範囲は12~38℃程度ですが、最適な施工温度範囲は20~25℃程度です。
- ・現場で本品を保管する場合は、直射日光を避け、温度は38℃以下で保管してください。
- ・施工後の急激な温度変化はフクレ・目隙の原因となるため避けてください。

【低温時(12℃未満)】

- ・低温時は裏面の接着効果が発揮されにくく接着不良になりやすいので施工を延期するか、またはジェットヒーターを用意するなど現場環境を改善してから施工してください。
- また、低温時はフィルムが裂けやすくなりますのでご注意ください。

【高温時】

- ・直射日光が当たる下地面は、極端に接着力が強くなり、貼り付け後の微調整も困難で作業性が悪くなります。この場合は時間帯をずらして、下地が冷めるのを待ってから施工してください。
- ・高温時はフィルムがより柔軟になり、施工しにくくなる場合があります。
- ・スチール下地への施工の際は、直射日光が当たる場所は冬季でも高温になっている場合がありますのでご注意ください。

R面施工でのドライヤー使用

本品を折り曲げて施工する場合、商品によってはR面部分が白くなる場合があります。ドライヤーで温めながら貼り付けるか、貼り付けた後に温めてください。

施工上の注意 (高耐候リアテック / 玄関ドアフィルム 共通) |

下地の選定

直射日光、雨が当たる木質系のドアへの施工は膨れが発生する場合がありますので施工しないでください。

表面に油分がある場合は除去してから施工してください。プレス形状のドアは形状によって施工出来ない場合があります。下地の状態によっては施工できない場合があります。

プライマー処理

全面に塗布し、十分に乾燥させてから施工をしてください。プライマーが塗装面に影響を及ぼし密着が悪い場合には施工ができません。事前に目立たない部分で確認してからご使用ください。

貼りつけ

圧着ムラがでないようにしっかりと圧着してください。膨れや割がれの原因となります。商品の特性上フィルムが裂けやすいのでご注意ください。剥り直し、カットの際に亀裂(きっかけ)ができると後から裂けてしまう可能性があるためご注意ください。

施工上の注意 (玄関ドアフィルム) |

ドア表面の付属品

ドアスコープなどの付属品は、なるべく外してから施工してください。また施工後、取り付けの際に強く締めつけすぎると膨れやひび割れの原因となりますので、十分にご注意ください。ドアの蝶番まわりへの施工は商品が裂けやすいのでご注意ください。

下地確認・プライマー処理

リフォームの場合、既存下地の状態を確認し、十分な下地処理を行ってください。塗装面の場合、プライマーが塗装面を侵さないことを端部で確認後、全面塗布し、十分に乾燥させてください。古い物件の場合、塗装や化粧フィルムが何層にも重なっている場合がありますので、下地自体の密着度を確認して、密着が弱い場合は剥がすなどの処置を行ってください。プライマーは全面にムラなく塗布することが基本です。塗りムラがあると、その部分のみ密着が弱くなり、温度変化等により浮き、剥がれに繋がる恐れがありますのでご注意ください。古い塩ビ鋼板下地の場合、プライマーに含まれる溶剤が塩ビ面に残留しやすく、十分に揮発しない状態で化粧フィルムを施工すると、粘着剤に影響を与え、浮きや剥がれに繋がる場合がありますので、乾燥時間を十分にとって施工してください。特に冬場、低温時には溶剤の揮発が遅れるためご注意ください。

貼り付け

外部施工では温度変化が直接フィルムに影響を及ぼしやすく、圧着は特に入念にムラなく行ってください。圧着ムラがある場合、施工直後には表面に膨れが見えない場合でも、気温が上昇することで空気が膨張し、膨れることがあります。低温時にはドアの巻き込み部や凹凸部はフィルムが跳ねやすくなるため、ヒートガン等で熱を加えながら十分に圧着してください。ドアスコープやドアノブ、郵便受け周りや装飾用の役付付近は圧着がしにくいので、特に意識して圧着を行ってください。不要なフィルムをカットし仕上げた後、最後にもう一度圧着ムラがないか確認してください。

施工後の注意点

施工直後に急激な温度変化があると、フィルムが伸び、浮き、膨れに繋がるためご注意ください。

別途施工要領書を準備しておりますので、お問合せください。

保管・運搬・メンテナンス上の注意

保管・運搬上の注意 | _____

保管方法

使用後に残った本品を保管する際には、手で巻きしめ、テープ止めをして緩みがないようにしてください。緩めて保管しますと、離型紙とフィルムが剥離する場合があります。直射日光や高湿度下を避け、周囲温度38℃以下の清潔な場所に保管し、購入後1年以内に使用してください。

無理な運搬はしない

本品は重量物となるため、お取り扱いの際は十分な安全確保をし、無理な運搬は避けてください。事故や怪我の原因となります。

高所から落とさない

本品はトラックの荷台など高い所から落とさないでください。破損や怪我の原因となります。

メンテナンス上の注意 | _____

日常のメンテナンス

日常的な汚れは薄めた中性洗剤とスポンジなどで清掃してください。清掃後は水拭きを行い、本品表面に残った洗剤を除去してください。

汚れが落ちにくい場合

メラミンスポンジなどで軽く拭き、柔らかい布で水拭きと乾拭きを行ってください。強くこすり過ぎると表面の色・ツヤが変化する場合がありますのでご注意ください。

クレンザーや研磨剤

クレンザーなど研磨剤が含まれている洗浄剤やスポンジ、またシンナー等の溶剤は使用しないでください。キズや変色が発生する場合があります。

漂白剤・ヘアマニキュア

水廻りにご使用の場合、ヘアマニキュアなどを付着させないようご注意ください。また、漂白成分が含まれる洗剤を使用した場合、表面の色・ツヤが変化する場合がありますのでご注意ください。

その他 | _____

床に放置すると危険

離型紙や端材を床に放置すると歩行中に転倒の恐れがあります。

廃棄物

端材などの廃棄については、しかるべき資格を有する産業廃棄物処理業者に直接廃棄を委託してください。

有機溶剤・引火

有機溶剤が含まれているシーラー・プライマーをご使用の際は、十分な換気を行い、また引火を防ぐため、火器類を近づけないようにしてください。重大な事故に繋がる恐れがあります。

推奨副資材

ベンリデザイン | _____